

2025 年度 赤井川村 DMO 活動報告

一般社団法人
赤井川村国際リゾート推進協会

主な取組概要

■ 広域観光

【令和 6 年度広域周遊観光促進のための観光地域支援事業】への取組。

赤井川村 DMO 設立当初より進めて参ました小樽ゲートウェイ構想の取組の 1 つとして、小樽を入口とした周遊観光コンテンツ造成事業の取り組みを推進、中国インバウンドをターゲットとしてメディカル&ウエルネスツーリズムをコンテンツ化致しました。

小樽市済生会病院と連携しながらワークショップを開催しモニタリング商談会等を実施しました。

【令和 6 年度伴走支援型観光地域力強化推進事業】を小樽市観光協会と連携

事業期間：令和 6 年 6 月～10 月下旬

小樽築港エリア小樽マリーナの魅力向上を狙い、ナイトタイムコンテンツ造成事業を行う地中海料理を味わえるトラットリア・デッラ・マリーナ小樽の OPEN と観光名所としての魅力づくりに向けたライトアップを行いました。

WEB サイトもリニューアルし魅力的な観光都市としての地域づくりに貢献して参ります。

申請は小樽観光協会となりますが、事業実施においては赤井川村 DMO とキロロリゾートがレストランの運営主体となっています。



新しく生まれ変わった小樽港マリーナレストラン。『トラットリア・デラマリーナ小樽』

【オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業】の採択と事業取組

実施期間：令和6年8月～令和7年2月末日

近年問題となってきたニセコ地域のオーバーツーリズムに対するアプローチとして、ニセコに滞在するスキーヤーを対象としたスキーバスの運行を行いました。ラグジュアリーなスキートリップを提供する為にスキー場レストランの一面をニセコラウンジとしてスキーバス専用のラウンジを新設。

スタート当初は、認知度も低く苦戦を強いられましたが、最終日には、降雪にも恵まれた事もあり満車42名をキロロリゾートにお迎えしました。

運行個期間：2024年12月14～2025年2月20日まで、全65便

乗車実績：合計410名 内訳 12月 60名 / 1月 110名 / 2月 240名



写：スキー場レストランに設置した専用ラウンジとスキーバス到着の様子。

■赤井川村 DMO は、解散した赤井川観光協会に代わり、各地域との観光連携を引き継ぎ地域の観光づくりも進めて参ります。

【しゃこたん半島観光振興会】へ加入致しました。加盟地域：小樽を除く北後志9市町村

(赤井川村、余市、二木、古平、積丹、岩内、神恵内、泊村、協和町)

主な取り組み内容 積丹半島ブルーラインドライブマップ等の制作。

第1回幹事会：10月22日（火） 場所：余市町で開催

しゃこたん半島観光振興会 総会：10月31日（木） 場所：古平町で開催

第2回幹事会：2月20日（木） 場所：仁木町にて開催

意見交換会：3月26日（水） 場所：赤井川村（キロロ）にて開催



しゃこたん半島ブルーラインガイドマップ（上側）

【北後志観光連絡協議会】に加入致しました。

加盟地域：FANCY（古平、赤井川村、二木、積丹、余市）の各観光組織が加盟。

5市町村の総称でもある『FANSY ファンシー』の広報活動、各自治体の EVENT への参加、協力等をお行っています。

担当者会議 5月19日（月） 場所：余市観光プラザにて開催

担当者会議 6月21日（金） 場所：余市観光プラザにて開催

北海ソーラン祭り参加：7月6日（土） 赤川村のキャラクター『あかりん』の参加。

【後志観光連盟】に加入しました。

参加団体は、後志地域の 20 市町村以上が参加。

主な内容は、観光振興・広域連携による観光情報の発信・イベント企画です。

後志地域のイベント情報の発信や後志広域 Drive MAP 等の制作及び、後志地域で開催されるイベント等の参加協力を行っています。



後志観光連盟主幹にて制作したドライブ MAP

■赤井川村の観光づくりに向けた取組み。

【まるっとカルデラ農村フェス実行委員会】への参加

今年で第2回目となる村内最大のイベントに、実行委員会事務局として参加いたしました。

全7回にわたる協議を重ね、地域の皆さま、そして村外からお越しいただく多くのお客様に楽しんでいただける様にと産業課の皆様、JAの皆様、商工会の皆様と一緒にプログラムづくりに取り組んでまいりました。

その中でも、赤井川村中学校の生徒のみなさんに企画を呼びかけ、一緒に『あかりんピック』を開催できたことは、村民参加型イベントを実現するうえで大きな第一歩になったと感じております。

集客面では、2日目はあいにくの雨で天候には恵まれませんでしたでしたが、初日の夜に開催した『花火大会』には村民の約1.5倍に相当する約**1,600名**のお客様にお越しいただき、大盛況

となりました。

運営面においては、キロロリゾート様、八洲建設様のご協力をいただき、事業費用の軽減にも努めてまいりました。

また、赤井川村 DMO からは活動支援に加え、**協賛金 100,000 円** の拠出も行っております。

今後も、村民の皆さまと共に、赤井川村の魅力をさらに発信できるイベントづくりに取り組んでまいります。

開催日：9月14（土）、15日（日） 2日間

集客人数：6,800名（昨年6,500名）



【赤井川村農泊推進協議会】中核団体、事務局としての活動。

農林水産省から5年間以上の活動が義務付けられており、今年度で4年目を迎えます。

コロナ禍やキロロリゾートとリブランド、新幹線工事等の関係者の宿泊等で村内宿泊事業者の関わり合も難しい状況が続き中、農林水産省からの指導もあり、今年度より Yu Kiroro の朝食プラン『赤井川村の朝食フェア』を開催、主な食材は、あかいがわむら道の駅で購入し直接シェフにお渡ししました。

活動タイトル：赤井川村の朝食フェア

場 所：Yu Kiroro ダイニングレストラン『Yukashi』

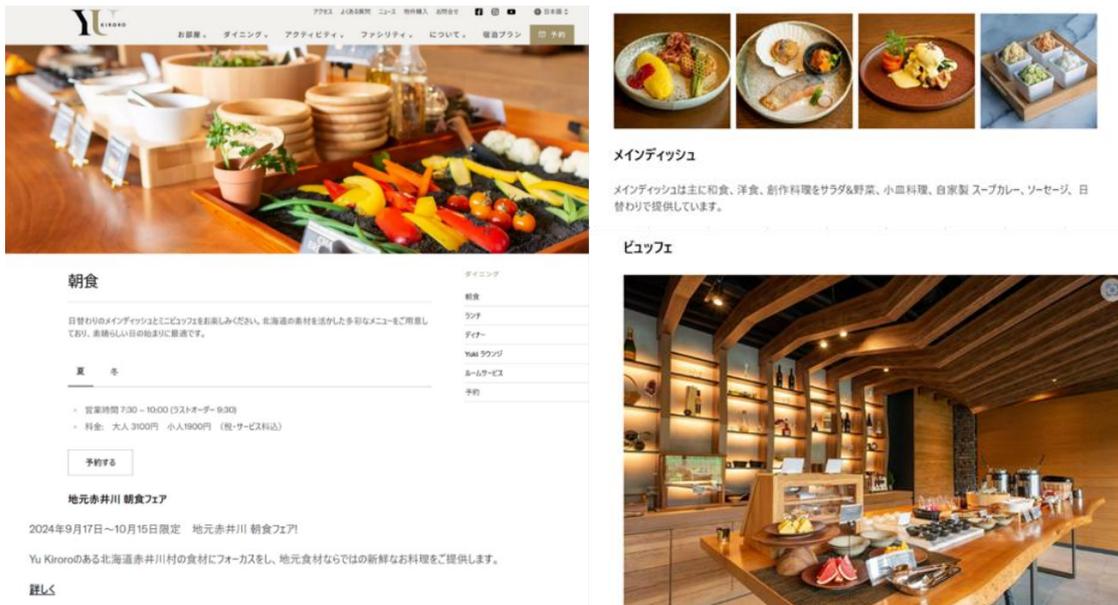
内 容：赤井川村の食材をふんだんに使ったメニューを提供。

新鮮野菜のサラダ、赤井川村の野菜を使った煮物等のお料理各種
山中牧場の牛乳、赤井川村産のお米等。

開催期間：2024年9月17日～10月15日 全31日間

利用者人数：494名（宿泊者）

朝食付き宿泊プランを選ばれた方及び現地オプション販売利用者人数です。



The image shows a screenshot of the Yukashi website. The top part features a navigation bar with links like 'お部屋', 'ダイニング', 'アクティビティ', 'ファシリティ', 'について', '宿泊プラン', and '予約'. Below this is a large image of a breakfast buffet table with various dishes. To the right, there are four smaller images of different dishes. Below these images, there are sections for 'メインディッシュ' and 'ビュッフェ'. The '朝食' section includes a description of the breakfast menu, a table with columns for 'ダイニング', '朝食', 'ランチ', 'ディナー', 'Yaki ラウンジ', 'ルームサービス', and '予約', and a '予約する' button. The 'ビュッフェ' section includes a large image of a buffet table.

【第2回 まるっと カルデラ農村フェス】特産品料理 PR

2024年9月14日（土）、15日（日）の2日間にわたり開催された「農村フェス」において、赤井川村の特産品を活用した料理開発を目玉企画として実施しました。本企画は、HBC ラジオ「グッチーの Good フライデー」との共同開発により実現し、農泊推進協議会ではこの催しを赤井川村の絶好の PR 機会と捉え、来場者に対してできる限り低価格で料理を提供する為に食材の提供を行いました。

今年度は、赤井川村産のとうもろこしとミニトマトを主な食材とした料理「ピザ・カルデラ～の～たっぷりトマトとたっぷりコーン～」を開発。その他にもかぼちゃを使用した特製プリンやコーンパン、かぼちゃ饅頭など、赤井川村の食材をふんだんに使った料理を提供し、村の魅力発信に貢献しました。

農泊推進協議会としては、ミニトマト、とうもろこし、メロン、かぼちゃなどの食材の一部を支援する形で、赤井川村 DMO と費用を折半。ピザ用のミニトマト、プリン・饅頭等に使用するかぼちゃの原材料を提供しました。

村カフェ・農村フェス食堂で味わえる逸品をご紹介します。

是非味わって頂きたい、2日間限りの限定メニュー。

HBCラジオ「グッチーのGood Friday」とコラボの『**かるでら〜のピザ**』1枚500円、味はコロポックル村のベーコンと完熟トマトまたはWコーン(白と黄色)の2種類をご用意しました。

昨年大好評を頂いた『**たっぷりコーンのパンかま**』も登場。スイーツのおすすめNo1、赤井川村の赤肉メロンで作る『**削りメロン**』はミルクシロップをたくさん掛けてお召し上がりください。その他にも赤井川村のかぼちゃを使った『**濃厚パンプキンプリン**』やしっとりホカホカの『**かぼちゃ饅頭**』もおすすめです。



■地産地消と消費拡大への取組を強化。

農泊推進事業のベースとなる取組の一つで、赤井川村で生産された食糧品をキロロに来られる多くのお客様に提供し消費拡大を目指した取組です。

現在は、農推進事業としての直接的な補助はしておりませんが、スキー場レストランの食材活用として継続した取組が行われております。

消費された主な食材：お米、かぼちゃ、じゃがいも、人参、ミニトマト、メロン、玉ネギ、かぼちゃ規格外品、とうもろこし規格外品など。

■特産品原材料の安定化を目指した一次加工への支援。

様々な商品開発を進める中で、常に問題となるのが原材料の安定化と絶対量の確保という事になります、赤井川村DMOは、小樽済生会病院の就労継続支援事業所『ぶりもぱっそ』障害者総合支援法に基づく食品加工施設と連携し、赤井川村のかぼちゃ・とうもろこしの一次加工が可能となりました。

農泊推進事業では、加工に必要な軽微な備品類、かぼちゃカッター1台、とうもろこしピーラー2セットの支援を行っております。



提供したかぼちゃカッターと一次加工品



とうもろこしピーラーと一次加工品

■特産品開発 今年度の取組

『カルデラポテトチップス』の商品化

赤井川村商工会では過去にも村独自のポテトチップスを企画販売していましたが、当時はパッケージ制作に留まり、商品の中身までは村独自で開発できていませんでした。

今回は“復刻”ではなく、完全オリジナルブランドの創出を目指し、じゃがいもの生産から新たに取り組みを開始しました。

じゃがいもの栽培についてはコロポックル村さんに依頼し、約4トンを収穫しました。本来であれば、そのじゃがいもをポテトチップス工場へ運び、正真正銘の「赤井川村産ポテトチップス」として商品化する予定でしたが、収穫後の温度管理がうまくいかなかったことからポテトチップスにする事ができず、今年度は赤井川村産じゃがいもでの製造を断念、本格的な地元産ポテトチップスの実現は次年度以降へ持ち越しとなりました。

それでも事業自体は前進しており、今年度は北海道産じゃがいもを使用して1,500袋を製造しました。主な販売先はキロリゾートおよびあかいがわ道の駅となっています。

- 商品名：カルデラポテトチップス
- 内容量：125g
- 価格：380円（税込）



その他ロールケーキで有名な「堂島ロール」のモンシェール（札幌店）と連携し『赤井川村かぼちゃとメープルロール』やかぼちゃ饅頭商品化を進めました。

【スキー場レストランでの地産地消拡大】

事業目的：赤井川村特産品の消費拡大と赤井川村ブランドの構築による商品開発を進める為の拠点とした事業で、DMOの収入財源のひとつともなっています。

店舗名：ブラッスリーAKAIGAWA

店舗で活用している主な赤井川村の食材

お米 約2t、かぼちゃ 500Kg、じゃがいも 500Kg、人参 100Kg、

ミニトマト 800Kg、玉葱 100Kg、

加工品：トンジスカン 500Kg、かぼちゃ饅頭、1,000個

かぼちゃのプリン 900個、ロールケーキ 300本

■【公共交通事業】 インバウンド重要の拡大に大きな貢献。

キロロリゾートと小樽、札幌を結ぶスキーバス事業、今年度インバウンド需要の拡大を受けて大幅な集客増、バスが需要に対応できない等の問題も露呈しました、DMO が手掛ける 2 次交通の確保は、今後この地域においてとても重要な取り組みとなっています。

スキーバス乗車人数

小樽線： 今シーズン 18,019 名 昨年 12,033 名 対前年 150%

札幌線： 今シーズン 5,515 名 昨年 3,324 名 対前年 165%

公共交通は、このほかにもキロロリゾート構内便、赤井川・余市従業員バス、村バス事業にも携わっており、地域住民にとっても重要な交通サービスも併せて担っております。

【WEB サイト】 コンテンツのプロモーションにおける一丁目一番地。

北後志地域のポータルサイトとしての役割を担う『Visit KITASHIRI』のリニューアル、英語サイトの作成、スキーの町おたる等、後志観光の情報発信源とした WEB サイト運営管理しています。

今年度より、各広域観光協議会への参加もあり、今後益々北後志の広域観光に繋げるサイトへの構築を目指して参りたいと考えています。

今年度より『まるっとカルデラ農村フェスオフィシャルサイト』の構築も行っております。





赤井川村 DMO の目標数値 (KPI)

(登録)【地域DMO】一般社団法人赤井川村国際リゾート推進協会
様式2

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】
北海道 余市郡 赤井川村
【設立時期】 2020年7月31日
【設立経緯】
区域に観光協会があったが役割分担等をした上でDMOを新設
【代表者】 渡邊 裕文
【マーケティング責任者(CMO)】 栗原 有希
【財務責任者(CFO)】 小野寺 順一
【職員数】 5人(常勤2人(正職員1人・出向等1人)、非常勤3人)
【主な収入】
収益事業 21百万円、補助金(国、道、地域、企業) 8百万円
【総支出】
事業費 28.4百万円(5年度決算)
【連携する主な事業者】
赤井川村商工会、(有)赤井川ハイヤー、(株)KRH
(株)New KRH (株)AIR 新小樽農協同組合

KPI(実績・目標)

記入日: 令和6年 7月 20日
※()内は外国人に関するもの。

指標項目	2021 (R 3) 年度	2022 (R 4) 年度	2023 (R 5) 年度	2024 (R 6) 年度	2025 (R 7) 年度	2026 (R 8) 年度
●旅行消費額 (百万円)	目	()	2500	6600	6800	7100
	実	936	599	4190		
	績	(6)	(5)	(3290)		
●延べ宿泊者数 (千人)	目	()	100	80	150	155
	実	90	66	67.1		
	績	(0.5)	(0.5)	(52)		
●来訪者満足度 (%)	目	()	()	()	78%	80%
	実	-	72%	75%		
	績	()	(72%)	(75%)		
●リピーター率 (%)	目	()	()	4	4.5	5
	実	1.5	3.8	4.2		
	績	(0.8)	(2.6)	(2.2)		

戦略

【主なターゲット】
スキーリゾートを目的とした訪日外国人、FITパッケージ(長期滞在)の取り込。
【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
海外メディア取材によるプロモーション強化
外資系ホテルの顧客ネットワークの活用
【観光地域づくりのコンセプト】
我が村の国際リゾートから始まる赤井川村のまちづくり。来る人、住む人、外国人国際化を目指して頑張ろう！赤井川村

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】
・日本最大級スノーアクティビティリゾートを目指した取組
敷地5Kmにも及ぶ広大なエリアを使つての雪遊び体験。
・地元特産品を使った料理開発。
パンかま(コーン、トマト)、かぼちゃプリン、かぼちゃ饅頭レストランにて販売。
【受入環境整備】
・交通結節点からのスキーバス運行、小樽・札幌発着定期便の就航。
インバウンドマーケットが回復したことを受けバス需要に応える。
【その他】
・地域の雇用確保に向けて、特定地域づくり事業協同組合の設立に向けた話し合いを、村、関係事業者と協議を進める

令和7年度事業計画(計画案)について

観光促進事業(小樽観光協会との連携事業)

- ・令和6年度に手掛けた、小樽築港エリアの魅力向上に向けたライトアップをはじめとするナイトコンテンツの更なる魅力付けの為の取組を行ってまいります。
- ・昨年1年間を掛けて行った小樽市公会堂の改修工事が終了し、1年越しで『能カフェ』

9

事業を再開、今年は、茶室をリノベーションし新たなコンテンツづくりを手掛けて参ります。

後志スキーリゾート周遊促進事業。

・北海道3大スキーリゾート「キロロ・ニセコ・ルスツ」を周遊満喫する。＜滞在コンテンツ造成・受け入れ環境整備事業＞これらの事業を連携して進めて参ります。

北海道の上質な雪を求めて来日するインバウンドスキー客にリゾートエリアを周遊してもらう為のスキーバス運行を始めとする環境整備や商品造成を行います。

地域連携・広域連携への取組。

・令和6年度から参加している地域の協議会の関わりを断絶する事なく、その役割を担って参ります。また、第3回目となる『農村フェス』実行委員会としての役回りや農泊推進協議会の中核団体としての活動等、引き続き村との関わり、地域事業者との関わりを強化し参ります。

・ふるさと納税への販売強化、魅力ある返礼品による村の税収確保に寄与して参ります。

・赤井川村商工会への事業者登録の実施。登録済み

・支援金・協力金の辞退、DMOの財源も安定的となってきた事から令和7年度より赤井川村、赤井川村商工会からの支援金受取を辞退する事と致します。

尚、地域の観光協議会等への年会費等は、令和6年度同様、商工会とDMOの関わりも含めてこれまで通り、商工会より各連盟、協議会へ支払いして頂く事としたい。

地域と進める観光づくりと安定的な事業運営の為の取組。

1. 公共交通事業による安定的な収益確保

令和6年度は、インバウンド需要の拡大を受け、DMOの大きな収益源となりましたが、需要に応えられないケースも少なくありませんでした、それら交通事業を請け負う事業者として収益性だけに捉われない観光需要に対応できる公共交通の確保を目指します。

2. 昨年より事業の強化を図っている商品開発事業、今年度は、ポテトチップスの本格的な流通を進めるとともに、新たな取組として、ジェラート事業を開始。済生会の加工場ビジネスと連携して事業の拡大を図って参ります。

【地域に関連した目標設定】

① 地域公共交通関連

- ・村バスの運行支援による、乗車人数の拡大 前年比 110% 目標 15,500 人
- ・小樽・札幌-キロロ間、冬期スキーバスの乗車人数の拡大
前年比 110% 目標 26,000 人

② 赤井川村の特産品開発

- ・赤井川村農泊推進協議会事務局運営と料理や観光土産品など2品以上の開発。

- ・赤井川村カルデラポテトチップス、じゃがいも原材料の実用化。
- ・ふるさと納税返礼品への取組。 2品以上の出品を目指します。

③ まるっとカルデラ農村フェス

- ・第3回目の実施。 事務局としての参加協力。 目標人数：昨年を上回る。

④ 地産地消への取組

- ・村内の農産品の需要拡大に向けた取組の強化。 ブランド化と販路拡大。
- ・規格外品の活用。 一次加工品への取組

以 上